

Foveal and Macular Thickness in a Japanese Population : The Hisayama Study

橋本, 左和子

<https://hdl.handle.net/2324/1931821>

出版情報 : 九州大学, 2017, 博士 (医学), 課程博士
バージョン :
権利関係 : やむを得ない事由により本文ファイル非公開 (2)



名：橋本左和子

論文名：Foveal and Macular Thickness in a Japanese Population: The Hisayama Study

(日本人一般住民における中心窩網膜厚と黄斑部網膜厚：久山町研究)

区分：甲

論文内容の要旨

【諸言】眼科領域のさまざまな網膜疾患において、それらによる網膜厚の肥厚、菲薄化は視力低下につながる。特に黄斑部はものを見る上で重要な部位であり、黄斑部の微小な変化を知ることは視力予後を知る上で大変重要である。

【対象と方法】2005年に久山町成人健診を受診した40歳以上の一般住民1,184名に対し、内科検査、光干渉断層計 Optical Coherence Tomography(OCT)を含む眼科一般検査を行い、日本人一般住民における中心窩網膜厚、及び黄斑部網膜厚の関連因子について検討した。

【結果】年齢は中心窩網膜厚と正の関連があり、女性で有意に薄く、身長で正の関連、屈折値と負の関連があった。中心窩網膜厚は喫煙者においても有意に薄く、更に喫煙量が増えるごとに薄くなった。一方、年齢は黄斑部網膜厚と負の関連があり、女性で薄く、身長と正の関連、屈折値と負の関連があった。さらに、高血圧者、喫煙者で有意に薄かった。

【結論】年齢、身長、屈折値、喫煙習慣が中心窩網膜厚の関連因子であり、年齢、身長、屈折値、高血圧、喫煙習慣が黄斑部網膜厚の関連因子であった。女性ではいずれの網膜厚も男性に比べ有意に薄かった。